

兵庫県  
保険医協会

# 西宮 支部ニュース

No. 380  
2026・3・25

発行

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部  
〒662-1083  
兵庫県西宮市甲風園1丁目1-5 法貴ビル2F  
法貴皮膚科内 兵庫県保険医協会  
078(393)1801

## 市民公開講演会

### 報告 ウクライナの現状と今後の展望 (感想文)

# ウクライナの子どもたちにも届けたい

西宮・芦屋支部は2月21日(土)、協会会議室とオンラインの併用で市民公開講演会「ウクライナの現状と今後の展望」を開催した。ウクライナでの人道支援活動に取り組むジャーナリストの丸山美和さんと、ポーランドの政治家で経営者でもあるウカシユ・ヴァントウフさんのお2人が講師を務め、会員・市民ら78人が参加した。司会を務めた西宮市・半田医院の半田伸夫先生の感想を紹介する。

答えてくれるなど、国際色豊かな講演となった。  
講演後、講師を取り囲んでサンドイッチ懇親会が開かれ、様々な意見が交わされた。戦争をする為政者と犠牲となる市民、降伏して市民の命を守る選択はないのかなど、深い議論があった。ウカシユさんは、「残念ながらウクライナは今のところ負けている。しかし本当の勝利とは何ですか」と、私たちに問いかけた。様々な意見があったが、来場していたウクライナ人のパブリー・ボグダンさん(富山国際大学准教授、詩人)は独立したウクライナを守るこそが勝利である。武器を含めた物資の援助は欠かせないと訴えた。講演会では、ウカシユさん、丸山さんたちの、ウクライナの子供たち

には絶望だけでなく、多くの希望がある、そのことを、身をもって教えたいという熱い思いが伝わった。すばらしい講演会だった。  
【西宮市 半田 伸夫】



ウクライナの子どもたちの作品や絵画などが販売・展示された

天皇誕生日を迎える2月終わりの3連休の土曜日、上記講演会が開催された。今までに2回、協会ではポーランドヤギェウォ大学で教鞭を執りながら、ウクライナ支援を続けている丸山美和さんの講演会を開いてきた。今回は、彼女のウクライナ支援の仲間であるウカシユ・ヴァントウフさんを招いての講演会である。会場50人、ZOOM 28人と多数の方が参加された。中にはアメリカ・オレゴンで視聴し、質問をした方もいたから、世界的な講演会となった。これは会を企画した丸山さん、広川恵一顧問、事務局の努力に他ならない。ウカシユさんはクラクフ市の前市議員で、ベンチャー企業の社長で、名刺には発明家と書かれていた。極めて精力的で、やさしく、人類愛にみちあふれた方で、ウクライナのお菓子をみんなに配り、会場の雰囲気や和らげながら、絶望的なウクライナの現状を伝えてくれた。



ウカシユ・ヴァントウフさんが今のウクライナの状況について講演



丸山美和さんが報告と通訳を行った



終了後は軽食を囲みながら講師と参加者による意見交換会も開催。「本当の勝利とは何か」など、ウクライナの現状について参加者同士で率直な意見が交わされた



ウクライナから日本に避難しているパブリー・ボグダンさんもフロアから発言した

## 世話人会だより

西宮・芦屋支部は2月27日(金)に西宮医療会館会議室で世話人会を開催。5人が参加した。

- 【I. 最近の診療経験の交流】  
・2026年度診療報酬改定について  
・薬剤供給不足問題について
- 【II. 予定・企画】  
① 「日本の青空」映画上映会(2・28)  
② 被災地交流/物品・物産展(3・14)  
③ 2026年診療報酬改定研究会(4・9)
- ④ 第46回支部総会・記念講演(7・18)

- 【III. その他】  
① 「震災30年の集い」書籍普及

- 【IV. 報告】  
① 市民講演会「ウクライナの現状と今後の展望」(2・21) など

\*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。次回は3月27日(金)に予定しております。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

第19回被災地交流／物品・物産展

震災と平和を考えるきっかけに

西宮・芦屋支部は3月14日(土)、西宮市の広川内科クリニックと林医院の2箇所で開催。被災地交流／物品・物産展を開催。気仙沼に本拠地をおく「かけあしの会」による東北の物産販売にくわえ、一昨年の能登半島地震被災地や、戦時下のウクライナから寄せられた物品・作品を販売した。また、協会の行っている被災地訪問・線量測定の記事、震災アスベスト問題、パレスチナ・ガザ地区に居住する被災者の方々の日記や、日本に住むクルド人の方々



かけあしの会からは定番の物産品に加え、新鮮な玉ねぎの販売や、蒸し牡蠣の実演販売なども行われ、会場には多数の市民が訪れた



広川内科クリニックの院内では、被災地訪問の記録、パレスチナ・ガザの記録、クルド人の暮らしに関するパネルなど多数の展示も行った



林医院の会場にも地域の市民が多数参加した(写真上)

物産品を購入された林先生(写真右)

の暮らしなどパネルの展示も行い、参加者に買い物を楽しみながら震災の経験や協会の取り組みについて知ってもらう機会とした。当日は「かけあしの会」から新鮮な玉ねぎの販売や、蒸し牡蠣の実演販売も行われ、参加者は牡蠣の大きさに驚きながら舌鼓を打った。能登半島地震被災地からは、能登町で被災した市民らが能登町・三波公民館に

集まり、使わなくなった漁網を手編みしたサコッシュを販売。また、ウクライナからは、ドネツク州出身のアーティストの絵画・アクセサリーに加え、現地で発行されている記念切手・ポストカードや、木工作品、調味料などの名産品も販売された。両医院ともに多数の来場者でにぎわい、参加者からは「東日本大震災から15年と知り、もうそんな経つのかと驚いた」「めざましく復興しているイメージが盛んに報じられているが、原発事故が今も収束していないことなどもっと知られるべきだと思う」などの思いが語られた。

「日本の青空」映画上映会

日本国憲法制定の経緯を学ぶ

西宮芦屋支部は3月28日(土)、2007年に制作された映画「日本の青空」の上映会を協会会議室で開催した。参加した林田英隆先生の感想を紹介する。

自民党は「新憲法はGHQが起草したもので、押し付けられたものであるため、わが国独自の憲法に改正する必要がある」と国民を洗脳してきました。そして、時代環境の変化に対応する改正が必要だと主張してきました。今回の高市政権の政策の中にも、国民を二分する「憲法改正」が含まれています。

今回上映された『日本の青空』を観て、日本国憲法は在野の憲法学者である鈴木安蔵らの草案をGHQが参考にして作り上げた世界に誇れる憲法であることを知りました。戦後当時の内閣府がつくった新憲法の草案は「ポツダム宣言」



憲法の原点とは何かを語る映画「日本の青空」が大好評で上映された

に違反した内容であったこともこの映画で知りました。今こそ国民にこの映画を是非観ていただきたいと思ひながら帰宅しました。

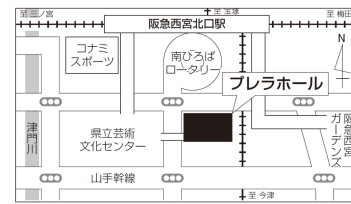
【西宮市・林田英隆】

※当作品はDVD化されていないため、西宮・芦屋支部では来年度以降、一般市民向けの上映会も開催予定。

診療報酬改定研究会にご参加を

診療報酬改定研究会 (医科・入院外) 西宮会場

日時 2026年4月9日(木) 14時00分～16時00分  
会場 西宮市プレラホール (阪急西宮北口駅徒歩3分)  
講師 岩下内科クリニック 岩下 敬正 先生  
川崎医院 川崎 史寛 先生  
中島クリニック 中島 敏雄 先生



他会場での研究会日程や診療報酬改定関係の情報は協会HPからもご確認いただけます。



http://www.hhk.jp/kaitei2026/

2026年度の点数改定にあたり、県内各地で診療報酬改定研究会を開催します。研究会は各会場2時間程度予定。別途送付の案内ハガキ(3月中旬発送)と引き換えに会場にて研究会資料(医科『点数表改定のポイント』、歯科『2026年改定の要点と解説』)を1部無料でお渡しします。案内ハガキを忘れずに持参ください。追加は1部医科2,000円、歯科1,000円です。同書籍は各医療機関に別途1部無料で郵送もいたします。